

令和4年度入学式学長式辞（2022.04.06）

新入生のみなさん。入学おめでとうございます。鳥取大学を代表して、みなさんの入学をこころより歓迎いたします。2年前に始まった新型コロナウイルス感染症の流行がなかなか収まらない中で、軍事力による世界秩序の変更の動きが起こってしまった今日この頃ですが、雪が多かった鳥取の冬も終わり、木々の芽吹きと桜の花を見ると、春の訪れを強く感じ、気持ちが少しは明るくなります。このような中、密を避けるために、新入生のご家族には参加をご遠慮いただき、また、2回に分けて行うという変則にはなりましたが、本日、ここに新入生を迎え入学式を挙行ができますことを、本学としても本当に嬉しく思います。

鳥取大学は前身校の時代から現在まで、実学を重視して、地域社会が直面する課題に果敢に取り組み、人びとの生活の向上と産業の育成を通して、地域に貢献して参りました。同時に、地域の課題の解決を探求する中から、人類にとって役に立つ、普遍的な知識を見出して、広く世界に発信し、世界の平和や福祉にも大きく寄与してきました。鳥取大学の基本理念「知と実践の融合」、すなわち、実践を通して知識を深め理論を身につけ、地域から国際社会まで広く社会に貢献するという理念は、こういった鳥取大学の歴史の中から生まれ、これから、みなさんはこの理念もとで学生生活を送ることになります。

さて、来るべき新しい理想的な社会は、第4次産業革命とそれに続く Society

5.0ということになっております。Society 5.0では、IoTで全ての人とモノがつながり、様々な知識や情報が共有され、その結果、今までにない新しい価値が生まれ出されます。AIによりロボットや自動走行の自動車などが可能になり、少子高齢化、人口減少、地方の過疎化などの諸課題が解決できると言われています。

一方で、人間の活動が引き起こしたといわれる地球温暖化、それによる気候変動は、大雨や大雪など多くの自然災害をもたらすだけでなく、恒常的な食糧不足や水不足を引き起こし、人びとの生活を不安定にする恐れを秘めています。今や、世界が一つになって、知恵を出し合い、工夫して、気候変動に立ち向かわないと、人類にとって悲惨な結末が待っていることは疑いようがありません。

そうした動きの中で、突如として新型コロナウイルスのパンデミックが始まり、軍事力による国際秩序の変更の動きが起きました。それらによって、社会の変化は加速され、さまざまな国際的な協働は、先行きが不透明になりました。こういった感染症のパンデミックや戦争の時には、色々な情報、ニュースが飛び交い、その中には嘘であったり、都合の悪いところを排除し、都合の良いところだけを使ったものであったりします。大学での学びは、このような時に、正しい情報と正しくない情報を見分ける力を身に付けることにあります。「溢れる情報や噂、雰囲気には惑わされず、自分の目で見て、自分の耳で聞いて、事実を見極め、事実に基づいて自分の頭で判断し、行動する。また、自分の行動には最後まで責任を持つ。」そういった行動パターンが社会の一員として強く求められます。

大学での学びは、どのような状況であっても、みなさんが社会で生きていける力を身につけるためのものでもあります。大学は高校とは違います。高校では教わった知識・技能を覚えて、テストで良い成績を取ること、テストでは、ミスをできるだけ防ぐことが要求されていました。大学では、知識・技能を先生から教わるだけではなく、教わった知識・技能に対して、みなさんが疑問や関心をもったことについては、人に聞き、自分で調べ、知識・技能をさらに広げ深める。また、教わった知識・技能を実際に現場で使ってみる。その結果、うまくいかなくても、逃げずに原因を探り、やり方を変えて、再びチャレンジする。こういった一連の行動が、将来に続く「積極的に学び続け、学びを実践する姿勢」につながります。もう一つは、様々な視点、観点から考えることのできる、「柔軟な考え方」を身に付けることです。これは常日頃から自分の好き嫌いによらず、物事を批判的、客観的に見るようにすることで身につきます。さらに、自分にとって都合が、良い悪いにかかわらず、すべての事実きちんと向き合い、評価し、事実だけに基づいて冷静に判断する力、すなわち「正しい判断力」も磨いて下さい。これらは、みなさんが将来出て行く社会において必ず求められるものです。

一方、研究においては、事実に対しては常に誠実に、正直に向き合うことです。これが研究に携わるものの正しい姿勢です。自分の考えに合わない事実を、わざと無視したり、あるいは歪曲したりしては決して正しい判断はできません。まずは、正しい方法で情報やデータを集めること、その情報やデータに真摯に向き合い、その意味することを誠実に、正直に読み取ることです。事実から目をそらし

てはいけません。改変、改ざんなどは、もってのほかです。大学院でこれから研究に従事するみなさん、近い将来、卒業論文研究に取り組むみなさんには、ぜひこのことを心に留めておいてください。

人生100年時代を迎えました、大学・大学院を卒業修了した後で、仕事以外の生活・人生があることも忘れてはいけません。社会人として人間性を重視したこころ豊かな生活を送ることが大事になります。そのためには、学生時代から、専門分野の学びだけでなく、それ以外についても幅広く学ぶことで教養を高め、読書をすることで色々な世界観、人生観を身につけ、また、音楽や絵画、演劇など文化芸術にも触れることで感性を磨き、生活を豊かにし、人生を豊にする術も身につけておいて下さい。

これから鳥取大学で過ごす時間が、みなさんにとって自分を磨き、自分を高める、有意義な時間となることを強く願っています。そして、鳥取大学の教職員一同、そういったみなさんを精一杯サポートいたします。新入生のみなさんの、鳥取大学でのこれからの成長をこころより願って、私のお祝いのことばとします。

令和4年4月6日

鳥取大学長 中島廣光